

第9回メソ気象研究会開催のお知らせ

第9回メソ気象研究会を、1996年日本気象学会春季大会（大宮）の最終日の翌日に開催いたします。今回は「水蒸気のリモートセンシング」と題して、水蒸気を遠隔により測定する方法について最新の技術をまとめたいと考えています。水蒸気というのは物理量の中で測定し難いものの一つと思われませんが、最近の技術の発展によりその広域の分布が計測できるようになってきています。降水が一つの重要な対象であるメソ気象では、降水のもととなる水蒸気の計測はたいへん重要です。研究会ではメソ気象だけでなく多方面の方に参加いただいて、計測の方法やその応用について意見交換や討論をしていただきたいと思います。奮ってご参加下さい。

プログラム

日時：1996年5月24日（金曜日）

10：00～15：30

場所：東京大学海洋研究所講堂

テーマ：「水蒸気のリモートセンシング」

コンピーナー：坪木和久（東京大学海洋研究所）

—座長：木村龍治（東京大学海洋研究所）—

1. 木村龍治（東京大学海洋研究所）
10：00～10：30
大気中における水蒸気の動態
2. 内藤勲夫（国立天文台） 10：30～11：00
日本型 GPS 気象学の戦略とその現状
3. 酒井哲（名古屋大学太陽地球環境研究所）
11：00～11：30
ラマンライダーによる水蒸気鉛直分布の測定

4. 青木忠生・青木輝夫（気象研究所）
11：30～12：00
TERSE による大気微量気体の測定
—lunch time—
5. 岩崎博之（群馬大学教育学部） 13：30～14：00
Split window データを用いた海洋上・陸上の可降水量の評価法
6. 早坂忠裕（東北大学理学部） 14：00～14：30
放射計を用いた地上からの水蒸気の観測
7. 青梨和正（気象研究所） 14：30～15：00
衛星搭載マイクロ波放射計データの数値予報モデルへのデータ同化について
8. 総合討論 15：00～15：30

代表世話人 小倉義光（日本気象協会）

事務局 吉崎正憲（気象研究所）

坪木和久（東京大学海洋研究所）

東京大学海洋研究所へのアクセス

1. JR 新宿駅西口より京王バス（バス番号：31, 32, 33, バス停：18, 19）で、弥生町3丁目下車、徒歩2分。
2. 地下鉄丸の内線中野新橋駅から徒歩10分。
3. 京王線幡ヶ谷駅から徒歩20分。
詳しい地図などは、海洋研の WWW (<http://www.ori.u-tokyo.ac.jp/>) にありますので、こちらも御覧下さい。